

令和8年度 さつきそらのLMO 事業計画書

1 今年度の目標

・ 設立後間もないため、地域での認知度を高める。
・ 地域課題のうち、速やかに取り組む必要がある防災事業を実施する。
・ 広報及び連絡方法の確立を目指し、広報・連絡手段の確立事業を実施する。
・ 既存の交流イベントを再検討することで、新たな賑わいを創出する。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	防災事業	(4)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	広島市立五月が丘小学校	
(3) 参加者数	3,500人対象	
(4) 主催団体	さつきそらのLMO、五月が丘防災まちづくりの会、五月が丘学区連合町内会、石内東地区自治会	
4 取組内容	全住民を対象に防災訓練を実施。内容は災害を想定し、事前に全世帯に配布した黄色いリボン(予定)を設定した日時に一斉に外から見える位置に掲げてもらい、安否確認を行う。その際小学校、各丁目集会所に連絡所を開設し集計作業を行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 住民の防災意識にばらつきがあるため、防災、減災活動を通して、災害時の緊張感、対応を体感してもらう。 ・ 全住民の参加を促すため、まずは簡単に参加できる防災訓練を行う。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 学区住民に防災、減災を身近に感じてもらうことで、防災意識の向上につながる。 ・ 災害報道を他人事としてみるのではなく、「もしも自分だったら」という考えを持ってもらう。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	さつきそらの LMO の広報・連絡手段の確立事業	(4) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 5 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 3 1 日	
(2) 実施場所	さつきそらの LMO 事務所	
(3) 参加者数	1 0 人 (検討委員会委員見込み)	
(4) 主催団体	さつきそらの LMO、五月が丘学区連合町内会、石内東地区自治会	
4 取組内容	・ 住民の年齢、住居地等に関わらず、情報提供できるツールを検討し、早期に情報伝達網を整備する。検討にあたっては、予算や運用の利便性等を考慮する。 ・ 電子回覧板、ホームページの立ち上げ、SNS や紙媒体等による情報発信手段を確立する。またそれらを周知するためのイベントを実施する。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) LMO の活動を広く周知するための広報・連絡手段を構築することで、迅速で正確な情報提供を行うことを目的とする。コミュニケーションの円滑化を図り、若手世代の地域参加を促すため、デジタルツールの導入と利用者拡大に継続的に取り組む。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・ 特に若手世代への伝達力や訴求力が向上し、地域活動の盛り上がりや新たな担い手の確保につながることを期待できる。 ・ 情報の伝達漏れを防ぐことができるとともに、人や物の実質的負荷を軽減させることができる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	交流イベント再検討事業	(4)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月1日 ～ 令和9年1月31日	
(2) 実施場所	さつきそらのLMO事務所、風楓舎、五月が丘小学校他	
(3) 参加者数	1,000人(見込み)	
(4) 主催団体	さつきそらのLMO、五月が丘学区連合町内会、石内東地区自治会、五月が丘学区体育協会	
4 取組内容	- 参加者が、減少傾向にあるウォークラリーの参加者を増やす企画を考える。全住民を対象にしているとんどの内容を再検討し、もっと参加してみたいイベントにする。 - 昨年度事業で作成したさつきそらのLMOのロゴシールを配布し、LMOの活動をPRする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） - ウォークラリー、とんどの参加者を増加させるため、既存行事をブラッシュアップし、世代問わず多くの方が参加をしたくなるような企画を立案、実行する。 - 多くの方が行事に参加することで、住民同士のつながりや関係性を深め、連帯感の向上を図る。 - 行事参加者にLMOの活動について周知をすることで、LMOについて知っていただく。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） - 既存行事を、多くの方が楽しめるよう改善することで、地域の魅力向上につながる。 - ウォーキング効果により参加者の健康づくりにつながる。 - 五月が丘学区のコミュニティ活性化の機運を高めたり、協力者を増やすことにつながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	地域交流活性化のための研修事業	(4)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年7月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	さつきそらのLMO事務所、風楓舎他	
(3) 参加者数	150人(見込み)	
(4) 主催団体	さつきそらのLMO、五月が丘学区連合町内会、石内東地区自治会	
4 取組内容	・ ICT研修で得た知識を活かし、スマートフォンやSNSの使い方を学べる講座を実施する。また、地域の活性化に向けての考え方を整理するため、外部講師を招いて研修会を開催する。 ・ 各取組は年間2回程度実施し、1回あたり20～30人程度の参加を想定する。チラシや掲示板、SNS等で周知を行う。 ・ 他地区LMOの視察を行い、LMOによる事業の成功事例等を学習する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 地域住民が、スマートフォンやSNSの使い方を学習することで、人と人とのつながりを深め、地域の連帯感の高揚や新しい出会いを創生することを目的とする。 ・ 地域交流活性化とは何かを学ぶため、他地区LMOへの視察を行い、成功事例等を学習する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ LMOの活動の目指すものが整理され、今後の活動に生かせる。 ・ SNS等の講座を通し、情報を受け取ったり、発信したりできる人が増えることで、情報共有を行う際の利便性が向上する。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
	特になし		